

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
設定日	2017年3月31日
信託期間	2017年3月31日～2021年12月27日（約4年9ヵ月）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。高利回り社債への投資にあたっては、流動性、発行状況、発行体の信用力やバリュエーション等を勘案しつつ、主として信託期間内に償還日が到来する銘柄に投資します。原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動による影響を受けます。
主要運用対象	米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし） <ul style="list-style-type: none"><li>・米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12の受益証券を主要投資対象とします。</li></ul> 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12 <ul style="list-style-type: none"><li>・主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債を主要投資対象とします。</li></ul>
投資制限	米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし） <ul style="list-style-type: none"><li>・株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li><li>・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li></ul> 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12 <ul style="list-style-type: none"><li>・株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li><li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>
分配方針	毎年6月、12月の25日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## 運用報告書（全体版）

第6期

決算日 2019年12月25日

### 米ドル高利回り社債ファンド 2017-03（為替ヘッジなし） （愛称）<sup>うさ</sup>USAギフト（為替ヘッジなし）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）（愛称：USAギフト（為替ヘッジなし）」は、去る2019年12月25日に第6期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# 米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジなし）」

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込金 騰落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
第2期（2017年12月25日）	10,283	80	3.1	93.6	—	494
第3期（2018年6月25日）	10,000	20	△2.6	97.3	—	458
第4期（2018年12月25日）	9,919	10	△0.7	96.5	—	404
第5期（2019年6月25日）	10,172	40	3.0	94.7	—	387
第6期（2019年12月25日）	10,506	40	3.7	92.1	—	358

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*基準価額の騰落率は分配金込み

\*先物組入比率は、買建比率－売建比率

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率
	騰落	率		
(期首) 2019年6月25日	円	%	%	%
	10,172	—	94.7	—
6月末	10,221	0.5	100.2	—
7月末	10,324	1.5	98.1	—
8月末	10,174	0.0	94.7	—
9月末	10,301	1.3	98.2	—
10月末	10,443	2.7	89.0	—
11月末	10,544	3.7	97.4	—
(期末) 2019年12月25日	10,546	3.7	92.1	—

\*騰落率は期首比です。

\*期末基準価額は分配金込み

\*先物組入比率は、買建比率－売建比率

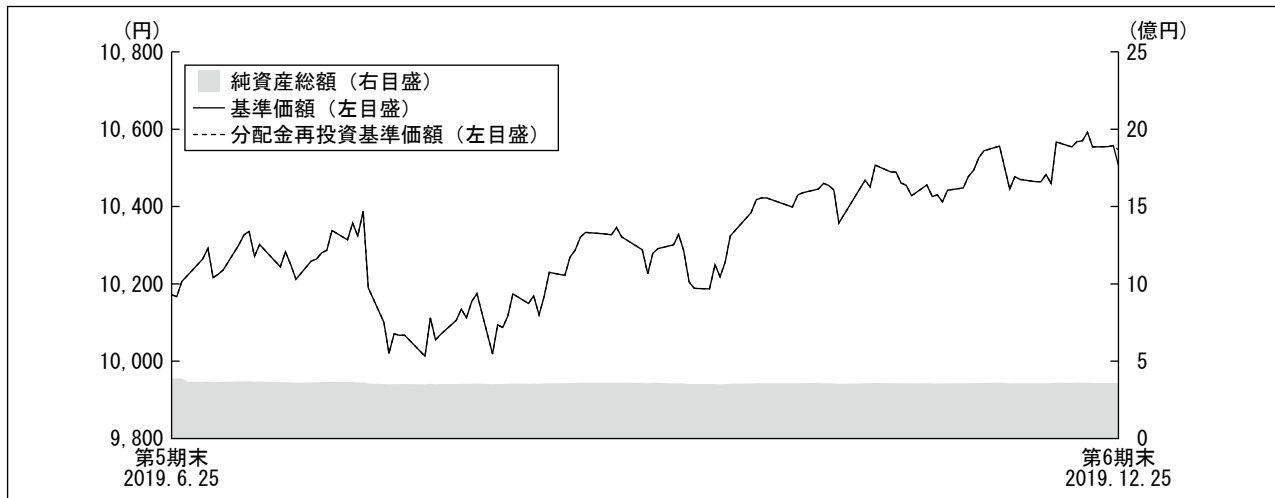
\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

# 米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジなし）」

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第6期首：10,172円

第6期末：10,506円（既払分配金 40円）

騰落率：+3.7%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12への投資を通じて、主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債へ投資を行いました。

（上昇要因）

幅広いセクターが総じて堅調に推移する中、通信や景気循環消費財、素材などのセクターが主にプラスに寄与し要因となりました。個別銘柄では、通信のDISH DBS CORP、景気循環消費財のKB HOME、素材のAK STEEL CORPなどがプラスに寄与しました。また、期中コール（期限前償還）されたMGM RESORTS INTERNATIONALなどの保有もプラスに寄与しました。

9月以降、米中通商協議の進展や英国の合意なきEU（欧州連合）離脱への懸念後退などを背景に、円安・米ドル高となったことが基準価額の上昇要因となりました。

## 米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

### 愛称：「USAギフト（為替ヘッジなし）」

#### （下落要因）

市場においてエネルギーセクターが軟調に推移し、保有銘柄では、原油価格の調整を背景に軟調となったWHITING PETROLEUM CORPがマイナスに作用したことなどが要因となりました。

8月に米中貿易摩擦の激化による世界景気の先行き懸念などを背景に、円高・米ドル安となったことが基準価額の下落要因となりました。

#### 【投資環境】

当期の米ドル高利回り社債市場は、クーポン収入に加えてスプレッドも縮小し、プラスのリターンとなりました。8月には、米中貿易摩擦の激化への警戒感や英国の合意なきEU（欧州連合）離脱への懸念、香港の政治情勢不安等からボラティリティ（価格変動性）が高まる局面もありましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）の緩和政策が、市場のリスク選好を支えました。10月発表の企業決算も総じて好調な内容となり、米国経済が引き続き好調さを維持する中で、米国金利が上昇する局面でも主としてクーポン収入の積み上げ効果により、プラスのリターンとなりました。

#### 【ポートフォリオ】

##### ■米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

主要投資対象である米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12を期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は92.1%としました。

##### ■米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

当期の騰落率は、+4.3%となりました。

主な売買としては、期中、ファンダメンタルズ（基礎的条件）に悪化が見られたWHITING PETROLEUM CORPの売却を実施しました。一方、コーポレート・アクションによるキャッシュ比率の上昇を受け、ファンダメンタルズが良好で投資妙味が高いと判断したDELL INCを購入しました。

なお、コール（期限前償還）またはテnder（買入消却）された主な銘柄は、CENTENE CORP、TENET HEALTHCARE CORPなどでした。

#### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

# 米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジなし）」

## 【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当り40円（税込み）とさせていただきます。  
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第6期	
	2019年6月26日 ～2019年12月25日	
当期分配金 (円)	40	
(対基準価額比率) (%)	0.38	
当期の収益 (円)	40	
当期の収益以外 (円)	-	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,155	

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

世界経済は緩やかながらも2020年の早い段階には安定化すると見えています。一方で、インフレ率は依然弱く地政学リスクも散見されるなか、主要中央銀行は緩和スタンスを継続すると思われれます。緩和スタンスと世界的な低金利環境の継続を背景に投資家の利回り資産への需要が喚起され、米国ハイイールド債券市場にとっても追い風になると見えています。今後も、ファンダメンタルズが改善傾向にあり、リファイナンスニーズが限定的である発行体の債券に注目しています。今後については、バイ・アンド・ホールド戦略を基本として、市場動向や企業ファンダメンタルズおよびクレジット状況を注視しながら信託期間終了まで高水準の利回りと安定的な収益の確保を目指した運用を行う方針です。

# 米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジなし）」

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年6月26日～2019年12月25日		
	金額	比率	
信託報酬	68円	0.654%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,335円です。
（投信会社）	(43)	(0.419)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(23)	(0.218)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	3	0.025	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.020)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	70	0.679	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

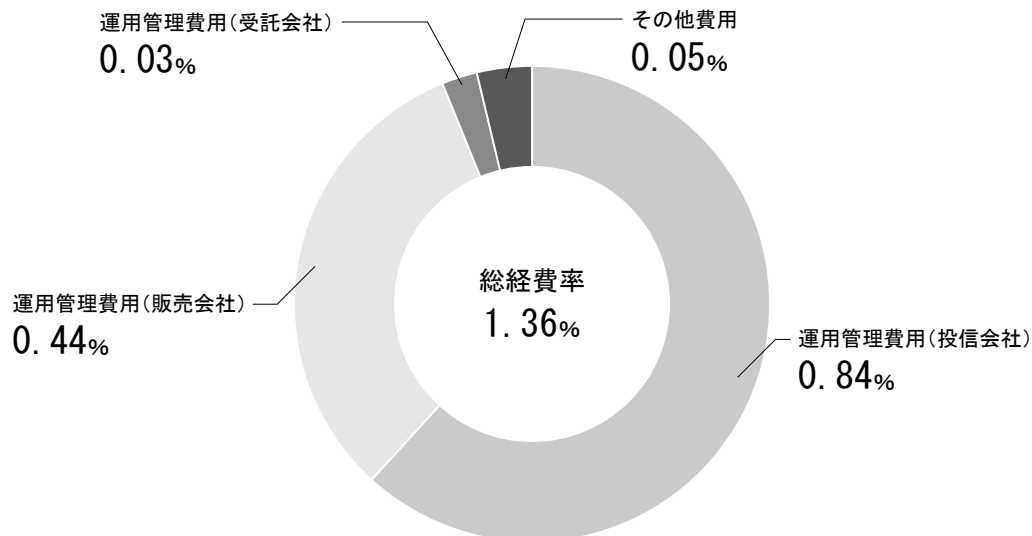
なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

# 米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジなし）」

## 参考情報 総経費率（年率換算）



\*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

\*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.36%です。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2019年6月26日から2019年12月25日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12	千口 —	千円 —	千口 42,120	千円 45,272

# 米ドル高利回り社債ファンド2017-03 (為替ヘッジなし)

愛称: 「USAギフト (為替ヘッジなし)」

## 主要な売買銘柄

(2019年6月26日から2019年12月25日まで)

### ■米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12における公社債の主要な売買銘柄

当		期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
SPRINGLEAF FINANCE CORP 8.25 12/15/20	21,433	AIRCASTLE LTD 7.625 04/15/20	22,216
CIT GROUP INC 4.125 03/09/21	19,583	GLP CAPITAL LP / FIN II 4.875 11/01/20	21,562
CSC HOLDINGS LLC 6.75 11/15/21	17,036	WHITING PETROLEUM CORP 5.75 03/15/21	16,786
NUSTAR LOGISTICS LP 6.75 02/01/21	14,820	LENNAR CORP 4.75 04/01/21	12,312
FRESENIUS MED CARE II 4.125 10/15/20	14,427	BALL CORP 4.375 12/15/20	5,588
CNH INDUSTRIAL CAPITAL L 4.875 04/01/21	14,176	NAVIENT CORP 6.625 07/26/21	4,640
HCA HOLDINGS INC 6.25 02/15/21	13,046	FRESENIUS MED CARE II 4.125 10/15/20	2,754
ANIXTER INC 5.125 10/01/21	8,520	NAVIOS MARITIME ACQ CORP 8.125 11/15/21	1,697
DELL INC 4.625 04/01/21	8,446	ALLY FINANCIAL INC 4.25 04/15/21	560
BALL CORP 4.375 12/15/20	8,404		

\*金額は受渡し代金(経過利子分は含まれていません。)

## 利害関係人との取引状況等

(2019年6月26日から2019年12月25日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

2019年12月25日現在

### ■親投資信託残高

	期首(前期末)	当	期	末
	口数	口数	口数	評価額
米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12	千口 367,805	千口 325,684	千口 325,684	千円 362,063

\*米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12全体の受益権口数は、740,937千口です。

## 投資信託財産の構成

2019年12月25日現在

項	目	当	期	末
		評価額	評価額	比率
		千円	千円	%
	米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12	362,063	362,063	100.0
	投資信託財産総額	362,063	362,063	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=109.35円

\*米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

当期末における外貨建資産(817,866千円)の投資信託財産総額(827,943千円)に対する比率 98.8%



# 米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジなし）」

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年12月25日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	362,063,998円
米ドル高利回り社債 マザーファンド2021-12(評価額)	362,063,998
(B) 負 債	3,729,470
未払収益分配金	1,364,274
未払信託報酬	2,345,737
その他未払費用	19,459
(C) 純資産総額(A-B)	358,334,528
元 本	341,068,659
次期繰越損益金	17,265,869
(D) 受益権総口数	341,068,659口
1万口当り基準価額(C/D)	10,506円

\*元本状況

期首元本額	381,155,102円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	40,086,443円

## 損益の状況

自2019年6月26日  
至2019年12月25日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	15,113,846円
売 買 益	15,439,327
売 買 損	△ 325,481
(B) 信託報酬等	△ 2,365,196
(C) 当期損益金(A+B)	12,748,650
(D) 前期繰越損益金	6,906,800
(E) 追加信託差損益金	△ 1,025,307
(配当等相当額)	( 293,604)
(売買損益相当額)	(△ 1,318,911)
(F) 計 (C+D+E)	18,630,143
(G) 収益分配金	△ 1,364,274
次期繰越損益金(F+G)	17,265,869
追加信託差損益金	△ 1,025,307
(配当等相当額)	( 293,604)
(売買損益相当額)	(△ 1,318,911)
分配準備積立金	39,109,525
繰越損益金	△20,818,349

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

\*当期中において、親投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は666,680円です。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配当等収益(費用控除後)	8,678,543円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収益調整金	293,604
(D) 分配準備積立金	31,795,256
分配可能額(A+B+C+D)	40,767,403
(1万口当り分配可能額)	( 1,195.28)
収益分配金	1,364,274
(1万口当り収益分配金)	( 40)

# 米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジなし）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジなし）」

## 分配金のお知らせ

1万口当り分配金(税込み)

40円

### ■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

### ■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

## 運用報告書

決算日：2019年12月25日

(第3期：2018年12月26日～2019年12月25日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債を中心に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li><li>・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

# 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産額
		期騰	中落率			
(設定日) 2017年3月31日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	百万円 950
第1期 (2017年12月25日)	10,487	4.9	92.2	—	—	1,171
第2期 (2018年12月25日)	10,283	△1.9	95.7	—	—	973
第3期 (2019年12月25日)	11,117	8.1	91.1	—	—	823

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

\*先物組入比率は、買建比率－売建比率

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率		公社債 組入比率	債券先物 組入比率
		騰	落率		
(期首) 2018年12月25日	円 10,283	% —	% 95.7	% —	
12月末	10,376	0.9	96.5	—	
2019年1月末	10,451	1.6	94.0	—	
2月末	10,754	4.6	95.1	—	
3月末	10,852	5.5	93.7	—	
4月末	10,994	6.9	94.3	—	
5月末	10,757	4.6	95.5	—	
6月末	10,706	4.1	94.0	—	
7月末	10,827	5.3	96.6	—	
8月末	10,682	3.9	94.5	—	
9月末	10,826	5.3	97.0	—	
10月末	10,987	6.8	88.6	—	
11月末	11,104	8.0	96.8	—	
(期末) 2019年12月25日	11,117	8.1	91.1	—	

\*騰落率は期首比です。

\*先物組入比率は、買建比率－売建比率

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

期首：10,283円  
期末：11,117円  
騰落率：+8.1%

### 【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

全セクターのプラス寄与が要因となりました。中でも、通信や景気循環消費財、金融の各セクターが堅調なリターンとなりました。個別銘柄では、通信のDISH DBS CORP、景気循環消費財のKB HOME、金融のNAVIENT CORPなどがプラスに寄与しました。また、期中にコール（期限前償還）されたMGM RESORTS INTERNATIONALなどの保有もプラスに寄与しました。

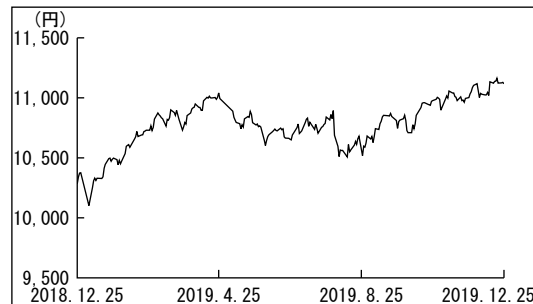
(下落要因)

米ドルが対円で下落したことが要因となりました。

### 【投資環境】

当期の米ドル高利回り社債市場は、米国金利の低下とスプレッドの縮小により、大幅なプラスのリターンとなりました。期首から2019年4月にかけては、米国の景気減速懸念の後退やFRB（米連邦準備制度理事会）のハト派的スタンスへの転換、米中貿易協議での進展への期待や中国の大規模景気浮揚策などを好感し、米ドル高利回り社債市場は力強い上昇基調となりました。5月から8月にかけては、米中貿易摩擦や英国の合意なきEU（欧州連合）離脱への警戒感が高まり、市場はリスク回避色を強めました。米国や欧州の中央銀行の緩和姿勢に支えられ、リスク資産は再び持ち直しの動きとなりました。企業業績も総じて好調な内容となり米国経済が好調を維持する中、9月以降米国金利が上昇する局面でも主としてクーポンの積み上げ効果により、市場はプラスのリターンとなりました。

基準価額の推移



## 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

### 【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、+8.1%となりました。

主な売買としては、期中、ファンダメンタルズ（基礎的条件）に悪化が見られたWHITING PETROLEUM CORPの売却を実施しました。また、コーポレート・アクションによるキャッシュ比率の上昇を受け、ファンダメンタルズ対比のバリュエーション（投資価値評価）から見て投資妙味が高いと判断したFIRST QUANTUM MINERALS LTD、KINETIC CONCEPTS INCを追加購入したほか、NUSTAR LOGISTICS LP、DELL INCを新規購入しました。

なお、コールまたはテnder（買入消却）された主な銘柄は、BAUSCH HEALTH COS INC、JBS USA LUX SA、AGILITI HEALTH INC、CENTENE CORP、TENET HEALTHCARE CORPなどでした。

### 今後の運用方針

世界経済は緩やかながらも2020年の早い段階には安定化すると見えています。一方で、インフレ率は依然弱く地政学リスクも散見されるなか、主要中央銀行は緩和スタンスを継続すると思われま。緩和スタンスと世界的な低金利環境の継続を背景に投資家の利回り資産への需要が喚起され、米国ハイイールド債券市場にとっても追い風になると見えています。今後も、ファンダメンタルズが改善傾向にあり、リファイナンスニーズが限定的である発行体の債券に注目しています。今後については、バイ・アンド・ホールド戦略を基本として、市場動向や企業ファンダメンタルズおよびクレジット状況を注視しながら信託期間終了まで高水準の利回りと安定的な収益の確保を目指した運用を行う方針です。

### 1万口当りの費用明細

項目	当 期		項目の概要
	2018年12月26日～2019年12月25日		
	金額	比率	
その他費用	3円	0.032%	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.030)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	3	0.032	
期中の平均基準価額は10,776円です。			

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 円未満は四捨五入しています。

# 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

## 売買及び取引の状況

(2018年12月26日から2019年12月25日まで)

### ■公社債

			買	付	額	売	付	額
外国	ア	メ	千アメリカ・ドル			千アメリカ・ドル		
	リ	カ	1,466			814 (2,502)		
		社						
		債						
		券						

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

\*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

\*社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

## 主要な売買銘柄

(2018年12月26日から2019年12月25日まで)

### ■公社債

当			期		
買	付	額	売	付	額
銘	柄	金	銘	柄	金
		千円			千円
NUSTAR LOGISTICS LP	6.75 02/01/21	24,530	AIRCASTLE LTD	7.625 04/15/20	22,216
SPRINGLEAF FINANCE CORP	8.25 12/15/20	21,433	GLP CAPITAL LP / FIN II	4.875 11/01/20	21,562
CIT GROUP INC	4.125 03/09/21	19,583	WHITING PETROLEUM CORP	5.75 03/15/21	16,786
CSC HOLDINGS LLC	6.75 11/15/21	17,036	LENNAR CORP	4.75 04/01/21	12,312
FRESENIUS MED CARE II	4.125 10/15/20	14,427	BALL CORP	4.375 12/15/20	5,588
CNH INDUSTRIAL CAPITAL L	4.875 04/01/21	14,176	NAVIENT CORP	6.625 07/26/21	4,640
HCA HOLDINGS INC	6.25 02/15/21	13,046	FRESENIUS MED CARE II	4.125 10/15/20	2,754
ANIXTER INC	5.125 10/01/21	8,520	NAVIOS MARITIME ACQ CORP	8.125 11/15/21	1,697
DELL INC	4.625 04/01/21	8,446	ALLY FINANCIAL INC	4.25 04/15/21	560
BALL CORP	4.375 12/15/20	8,404			

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

## 利害関係人との取引状況等

(2018年12月26日から2019年12月25日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

2019年12月25日現在

## ■ 公社債

## A 債券種類別開示

## 外国（外貨建）公社債

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち BB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 6,674	千アメリカ・ドル 6,863	千円 750,495	% 91.1	% 76.9	% —	% —	% 91.1
合 計	—	—	750,495	91.1	76.9	—	—	91.1

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## B 個別銘柄開示

## 外国（外貨建）公社債

銘 柄	当 期				末		
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ・ドル…アメリカ)		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円		
CENTURYLINK INC	社 債 券	5.6250	150	151	16,545	2020/04/01	
NUSTAR LOGISTICS LP	社 債 券	6.7500	215	223	24,460	2021/02/01	
FIRST QUANTUM MINERALS L	社 債 券	7.0000	41	41	4,502	2021/02/15	
ARCELORMITTAL	社 債 券	5.5000	110	114	12,508	2019/12/27	
AK STEEL CORP	社 債 券	7.6250	340	343	37,519	2021/10/01	
AIRCASTLE LTD	社 債 券	7.6250	70	71	7,773	2020/04/15	
ALLY FINANCIAL INC	社 債 券	4.2500	300	308	33,684	2021/04/15	
ANIXTER INC	社 債 券	5.1250	220	229	25,089	2021/10/01	
BOMBARDIER INC	社 債 券	8.7500	285	312	34,156	2021/12/01	
CIT GROUP INC	社 債 券	4.1250	370	377	41,241	2021/03/09	
CSC HOLDINGS LLC	社 債 券	6.7500	285	306	33,548	2021/11/15	
DISH DBS CORP	社 債 券	6.7500	390	409	44,803	2021/06/01	
DELL INT LLC / EMC CORP	社 債 券	5.8750	183	186	20,358	2021/06/15	
DELL INC	社 債 券	4.6250	75	77	8,460	2021/04/01	
FRESENIUS MED CARE II	社 債 券	4.1250	225	227	24,852	2020/10/15	
KB HOME	社 債 券	7.0000	380	408	44,686	2021/12/15	
NAVIOS MARITIME ACQ CORP	社 債 券	8.1250	270	214	23,464	2021/11/15	
SPRINGLEAF FINANCE CORP	社 債 券	8.2500	350	369	40,415	2020/12/15	
SPRINT COMMUNICATIONS	社 債 券	7.0000	410	419	45,893	2020/08/15	
HCA HOLDINGS INC	社 債 券	6.2500	380	396	43,308	2021/02/15	



## 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

銘柄	当			期 末		
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ・ドル…アメリカ)		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
QEP RESOURCES INC	社 債 券	6.8750	265	271	29,713	2021/03/01
JAGUAR LAND ROVER AUTOMO	社 債 券	3.5000	200	200	21,871	2020/03/15
CNH INDUSTRIAL CAPITAL L	社 債 券	4.8750	340	350	38,315	2021/04/01
ADT CORP	社 債 券	6.2500	195	207	22,715	2021/10/15
BALL CORP	社 債 券	4.3750	320	326	35,651	2020/12/15
NETFLIX INC	社 債 券	5.3750	165	170	18,692	2021/02/01
NAVIENT CORP	社 債 券	6.6250	140	148	16,261	2021/07/26
合計	—	—	6,674	6,863	750,495	—

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 投資信託財産の構成

2019年12月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 750,495	% 90.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	77,447	9.4
投 資 信 託 財 産 総 額	827,943	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=109.35円

\*当期末における外貨建資産(817,866千円)の投資信託財産総額(827,943千円)に対する比率 98.8%

# 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年12月25日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	841,835,566円
コール・ローン等	67,959,013
公社債(評価額)	750,495,786
未収入金	13,900,000
未収利息	8,621,129
前払費用	859,638
(B) 負 債	18,158,914
未払金	13,892,371
未払解約金	4,266,543
(C) 純資産総額(A-B)	823,676,652
元 本	740,937,157
次期繰越損益金	82,739,495
(D) 受益権総口数	740,937,157口
1万口当り基準価額(C/D)	11,117円

\*元本状況

期首元本額	946,909,566円
期中追加設定元本額	43,538,472円
期中一部解約元本額	249,510,881円

\*元本の内訳

米ドル高利回り社債ファンド2017-03 (為替ヘッジあり)	415,252,171円
米ドル高利回り社債ファンド2017-03 (為替ヘッジなし)	325,684,986円

## 損益の状況

自2018年12月26日  
至2019年12月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	53,463,314円
受 取 利 息	53,077,820
そ の 他 収 益 金	393,660
支 払 利 息	△ 8,166
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	19,252,713
売 買 益	29,814,491
売 買 損	△10,561,778
(C) そ の 他 費 用	△ 295,145
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	72,420,882
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	26,767,573
(F) 解 約 差 損 益 金	△19,043,528
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,594,568
(H) 計 (D+E+F+G)	82,739,495
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	82,739,495

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含まず。

\*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## お知らせ

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。